

はじめに

茅ヶ崎市で実現！
地域を元気に、自分自身も元気になる働き方。

茅ヶ崎市の試験は「脱・公務員試験」重視するのは「茅ヶ崎市への思い」

茅ヶ崎市では、従来の「いわゆる公務員試験」を廃止し、人物重視の独自の採用試験＝「脱・公務員試験」を行っています。
市をより良くしていくためには、市民の方との交流や対話が不可欠であることから、さまざまな問題を市民の立場になって感じ、一緒に考え、合意を得ながら仕事を進めていく必要があります。そこで、特別な対策をしなければ解けないような筆記試験を廃止し、「やりたいことがあり、その実現に向け、自分なりに考えて行動できるかどうか」を重視した「独自の試験」を行っています。

「筆記試験で合格できる自信がない」というだけで「公務員になる」という考えを捨てるのではなく、一度茅ヶ崎市の職員として、ご自身が働いている姿を想像してみてください。「茅ヶ崎が大好き」「茅ヶ崎をこうしたい！」そんな強い思いを持っている方は、ぜひよりよい茅ヶ崎市を一緒につくっていきましょう！

市長からのメッセージ

「今の思い」を大切にしながら、一緒に茅ヶ崎市の未来を描いていきましょう！

南部に広がる海岸と北部に広がる丘陵の線、そして四季を通じて温暖な気候に恵まれている茅ヶ崎。このまちは心もあたたかく、茅ヶ崎を愛する人たちによって日々さまざまな活動が行われています。茅ヶ崎市は、1947年に市制を施行して以来、市民のみならず先人の努力により湘南の中枢を担う都市として発展を遂げてきました。

今後も市民のみならず自分らしく「笑顔」で暮らし、にぎわいのあるまちであり続けるために、一人ひとりが個性を發揮し、「茅ヶ崎がもつ力」を發揮していくことが大切だと考えています。

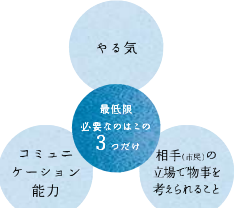
その中で、職員に求められる能力は多岐に渡ります。時には黒子に徹し、時には「市民を引っ張るリーダー」となり、市民のみならず事業者の方と話し合いをしながら、物事を進めていくことが大切になってきます。だからこそ、みなさんと力を合わせて一緒にまちをつかっていくことが「楽しい」と感じる職場にしていきたいと思っています。

今みなさんはどのような思いをもって、茅ヶ崎市の未来を描いていますか。そして、10年、20年後のような職員になりたいですか。

その思いを大切にしながら、一緒に茅ヶ崎市の未来を描いていきましょう！



茅ヶ崎市長
佐藤 光



私たちのフィールド

茅ヶ崎市では、総合計画で市の目指す姿を定め、まちづくりを行っています。私たちの仕事は、この将来の都市像を実現するために自ら考えて実行すること。私たち職員が活躍し、幅広い経験ができるフィールドを8つの視点から紹介します。



8つの視点

ひとを育てる

次世代を担うひとを育てるために、子育てしやすい環境を整えるとともに、子どもたちの成長を支えるような教育環境を地域と連携しながら整えていきます。



地域のにぎわいをつくる

地域に活力を生み出すために、市内事業者の活動支援やまちの魅力発信などにより地域経済の活性化を図るとともに、多様な働き方と働く場を創出していきます。



市民の健康を支える

住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、市民の健康を守るための施策を行うとともに、地域で支え合える仕組みを構築していきます。



心豊かな暮らしを支える

誰もが心豊かに暮らしやすい地域にするために、学びの機会を充実させるとともに、地域文化の創造を促進していきます。都市や人の交流を通じて、多様性を認め合うまちづくりを進めていきます。



生活環境をつくる

茅ヶ崎らしい豊かな自然環境や景観を保全・活用するとともに、公園や公共下水道などの生活インフラを計画的に整備・維持管理していくことで、自然と共存し心地よい生活空間をつくりまします。



安全・安心を支える

誰もが安全で安心な暮らしを送れるように、いざという時のために防災体制や消防・救急体制を整えるとともに、市民の自主的な防災対策の支援を行います。また、市民が抱える不安や悩みの解決に向けた相談などの充実を図ります。



魅力的な都市空間をつくる

茅ヶ崎らしい自然環境と市街地環境の調和のとれた都市づくりを進めていきます。また、道路や移動手段の整備により、安心して気軽に外出できる環境づくりを進めていきます。



都市像の実現に向けた行政経営

多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、市民主体のまちづくりを進めていきます。また、業務の効率化や職員の人材育成など、行政運営の基礎を確保し、まちづくりを支えていきます。



先輩職員の紹介

茅ヶ崎市のさまざまな分野で活躍する先輩職員を紹介します！



入庁 平成14年4月1日
秘書広報課 工藤 恵

これまでのキャリア
①事務員 ②行政課 ③秘書広報課
④秘書広報課 ⑤秘書広報課

【現在の業務内容】
秘書担当として、市長・副市長が円滑に市政運営を行えるように、スケジュール管理をはじめ、公務への実行や来賓の対応、出席する会議について関係者との調整などを行っています。調印には調整担当あり、それぞれ業務内容はまた異なりますが、馴染みあふれた雰囲気の中、お互いに協力し合いながら仕事を進めています。

【仕事のやりがい】
市役所の仕事は本当に幅広く、さまざまな業務がありますが、どの業務も「茅ヶ崎をより良くしていく」という大きな目標は同じです。定期的に部署の異動がありますが、さまざまな仕事をこなしてスキルアップできることがやりがいです。

【茅ヶ崎のことが好き】
海があること。特に、浜須賀交差点の歩道橋の上からの、海と富士山の眺めが好きです。



入庁 平成24年4月1日
市民課 中津川 桃子

これまでのキャリア
①保健年金課 ②福祉課 ③市民課
④市民課 ⑤市民課

【現在の業務内容】
社会福祉課で窓口業務を行っています。出産所では、証明書、産科、戸籍届出の受付などの業務のほか、国民健康保険や母子健康手帳の交付など市民課以外の業務も行っています。国民健康保険は少人数で、アウトリーチな業務で、少ない人数でも円滑に業務を進めることができるチームワークの良さがあります。

【仕事のやりがい】
高山市の時は、さまざまな課の業務を一手に引き受けていたため、幅広い知識が必要でした。大変なこともありますが、市民の方から「市役所に行かなくても手続きが楽になった」「ありがとう」と声をかけていただくことも多く、やりがいを感じています。

【茅ヶ崎のことが好き】
穏やかな気候と穏やかな人が多いこと。市役所の仕事を通じて、茅ヶ崎を愛するたくさんの市民の目に会えることができました。



入庁 平成19年4月1日
財政課 青木 大志

これまでのキャリア
①事務員 ②財政課 ③財政課
④財政課 ⑤財政課

【現在の業務内容】
市の財政状況を改善させるための財政健全化に関する事務をはじめ、秋から春にかけては財政課のメイン業務である翌年度の予算編成に関する業務を行っています。予算編成を通じていることが多く、お互いに刺激し合い切磋琢磨できる環境の中、助け合いながら仕事を進めています。

【仕事のやりがい】
翌年度の予算編成業務を通して、市の発展の方向性を判断することができ、スケールの大きい仕事であることと責任の重さを感じますが、プレッシャーの中で自分自身の成長を感じることがあり、やりがいを感じます。

【茅ヶ崎のことが好き】
海と緑に囲まれ、恵まれた自然環境の中でゆったり過ごせること。茅ヶ崎ならではのイベントや、オシャレなカフェ、美味しいお店も多いです。ぜひお気に入りのお店を見つけてください！



入庁 令和2年4月1日
保険年金課 坂口 光祐

これまでのキャリア
保険年金課(現職)

【現在の業務内容】
国民健康保険の保険料に関する納付の相談や保険の切り替え手続き、保険料の返還に関する業務を手に行っていて、市民の方と直接関わらせていただく機会が多い仕事です。保険年金課は人数が多く、担当によって仕事も異なりますが、担当に即格なく支え合えるチームワークの良い職場です。

【仕事のやりがい】
国民健康保険の制度は複雑で難しいものが多いので、自分自身覚えることが苦勞でしたが、市民の方から「助けて良かった」「またあなたにお世話になりたい」といった言葉をいただけるのはとてもやりがいを感じます。

【茅ヶ崎のことが好き】
海や山など自然豊かで公園やスポーツ施設が充実していること。市民の方の茅ヶ崎愛が強く、まち全体が明るい気候なところ。